

監督および競技者に対する注意事項

本大会は、2018年度 日本陸上競技規則及び同駅伝競走規準並びに本大会規則による。

1. 出場競技者について

- ① 男女とも正式オーダーは、学校受付時に提出する。
- ② 正式オーダー提出後の競技者変更は、病気・不慮の場合であり、会議で決定する。なお、競技者の変更が認められた場合は、補欠をその区間の交代として補充するものとする。
- ③ 開会式には、男女監督及び選手3名が参加すること。(ただし、代理可)

2. 競技について

- ① 競技者は所定のナンバーカードをユニホームの胸背に確実に取り付ける。
- ② **タスキは計測チップ入りのものを主催者で準備する。尚、計測チップについては、取り出したり、紛失しないように注意すること。このタスキは、正式オーダー提出時に受け取り、競技終了後、ゴール付近の回収係に渡すようにする。アンカーは、タスキを掛けたままゴールすること。**
- ③ レース中に走者が不慮の事故にて競技を中止した場合、駅伝競走規準により次走区から次走者を出発させる。この場合出発時刻は最後尾走者の1分後とする。記録は総合成績には入れないが事故のあった区間以外の区間記録は認める。
- ④ 競技者はセンターラインはないが、走路の左側を走らなければならない。
- ⑤ タスキは肩からわきの下に掛けなければならない。掛けていないと失格になる場合がある。ただし、中継時にはできるだけ遅い時点で外し、できるだけ早い時期に掛ける。およそ100m以内とする。
- ⑥ 伴走及び飲食物の提供、補給などの援助はできない。疑わしき行為のあった時は失格となる場合がある。
- ⑦ 中継にてタスキを渡し終わった競技者は、すみやかにコース外に出ること。
- ⑧ 出発線におけるレーン順は、学校受付時に公正に抽選し、5列とする。
- ⑨ 出発は次のように合図する。
競技者に10分前、5分前、1分前を予告。秒読みは30秒前、20秒前、10秒前を行い、10秒前で『位置について』をかける。これで『用意』の姿勢をとる。
- ⑩ 出発については、10分前に集合線に並び、3分前に競技服装、1分前で出発線に並ぶ。
- ⑪ 中継所でのタスキの受け渡しは中継線の前方20m以内とする。
- ⑫ 走者の衣類は中継所付近の指定された場所に置く。
- ⑬ レース中の事故については応急の処置は行うが、主催者は責任を負わない。
- ⑭ 大会当日のコースでの練習は、10:00までとする。
- ⑮ コースを間違えた場合、失格の原因となるが、その処置については審判長が裁定する。
- ⑯ 応援者、付添者の立入は、出発点及び中継点付近では一切禁止する。また、道路での応援は走者の妨害にならないように注意すること。(別図 A B 付近での応援は禁止する)
- ⑰ 強風によるテント倒壊の恐れがあるため、各校で対応すること。また、役員の指示には必ず従うこと。

3. 競技者の招集時間と場所について

招集点呼は、各区間とも下記の時刻に出発地点及び中継所付近にて行う。

女子	第1区走者	10:35	男子	第1区走者	11:45
	第2区走者	10:45		第2区走者	11:50
	第3区走者	10:55		第3区走者	12:00
	第4区走者	11:00		第4区走者	12:10
	第5区走者	11:10		第5区走者	12:20
				第6区走者	12:30

4. その他

- ① 補欠競技者は不慮の事故に備え、中継付近に待機すること。
- ② 総合成績は閉会式後、参加校に1部配布する。
- ③ 男女とも上位5位までの入賞校は、12月1日(土)開催の近畿大会(大阪府・万博記念陸上競技場・万博自然文化公園)に出場できる。
- ④ 男女とも優勝校は、12月16日(日)開催の全国大会(滋賀県)に出場できる。